

# 夢咲かせよう 立志の丘で

## 生徒総会 開催

2月10日（月）今年度の第2回生徒総会が開催されました。

議長は、2年生の本間紗斗さん、後藤爽華さんでした。

執行部の報告に対する質疑応答は次の通りです。

放送委員会への要望として「現在1・2年生の放送委員で運営しているが、昼の放送へのリクエストCDを3年生は、離れた1・2年生の教室へ持って行かなければならず、検討してほしい。」とありました。

保健・給食委員会への要望として「給食の台が汚れていることがあるので、それを委員で清掃したらどうか。」とありました。

JRC委員会への要望として「プルタブ・アルミ缶の回収を行っています、2～3週間前くらいに言ってほしい。」とありました。

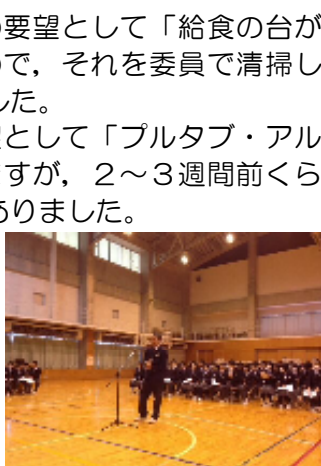
生活委員会へは「アンクルソックス（足のくるぶしにかからない靴下）について、生活委員が調べているのですが、なぜアンクルソックスはいけないのでしょうか？」という質問に対して、生活副委員長が「なぜあなたはアンクルソックスをはきたいとされているのですか？」と切り返し、質問者が「では、私も規則を守るように努力します。」と反省の弁を述べた一幕もありました。

執行部に対して「被災地支援についてのお考えを聞かせてください。」という質問については、「今後検討していきたいです。」とありました。

初めての議長2人は総会の運営についてスムーズに進めることができ、予定の時間よりも早く終えることができました。

## 定例集会テーマ 今伝えたいありがとう

2月12日（水）朝に定例朝集会が開催されました。今回のテーマは、「今伝えたいありがとう」です。皆さんのスピーチを紹介します。



### □ 3年生

#### A組 鈴木菜々さん

私が、今、ありがとうを伝えたい人は友達です。私が悩んでいるときは相談にのってくれるし、話していると元気になれます。高校進学後に離ればなれになる友達もいますが、これからもよろしくお願いします。

#### B組 佐々木悠太さん

私が、今伝えたいありがとうは、部活動でお世話になった奥山先生と杉山先生です。杉山先生は、理科の先生でもあっていろんな事を教わったからです。奥山先生は、数学の先生で困ったときはやさしくわかりやすく教えてくれたので、ありがとうを伝えたいです。

### □ 2年生

#### A組 佐々木航平さん

僕がありがとうを伝えたい人は竜也さんと悠太さんと翼さんです。いつも勉強や困っているときは助けてくれたのでありがとうを伝えたいです。「ありがとうございました。」

#### B組 佐々木光真さん

僕が一番ありがとうの気持ちを伝えたい人は悠太さんです。分からないときに、教えてくれたことがあったので、感謝しています。これからも、分からないときには教えてもらいたいです。

#### C組 齊藤 愛さん

私が今ありがとうを伝えたい人は2年C組のみんなです。理由は、2年生に成り立ての頃は仲間意識とかそういうのが全然分かっていなかったけれど、NISHISEN陸上や合唱コンクールなど、学級対抗で行う行事で仲間になって一つになってがんばることは大切なことだなあと感じたからです。あと一ヶ月くらいでクラス替えになってしまうけれど、よろしくお願いします。

### □ 1年生

#### A組 田村夢貴子さん

私が、今ありがとうを伝えたい人は池田先生です。なぜなら、部活動（科学部）のときにお世話になっているからです。

#### B組 佐藤桜花さん

私が、今ありがとうを伝えたい人は部活動（吹奏楽部）の先輩です。何も知らない私に一から基礎を教えてくれたからです。これから新入生が入部してきますが、先輩から学んだことを伝えていきたいです。



感想発表は3名でした。

- 3年B組 佐々木梨子さん  
もう少しで卒業になってしまうので、みんなへの感謝の気持ちを忘れずに過ごしていきたいと思いました。
- 2年C組 阿部和樹さん  
今日の皆さんのスピーチを聞いて、誰かに感謝の気持ちを表すということ、最近自分もできていなかったなあと思いました。今度からは感謝の気持ちを表せるようにがんばっていききたいと思いました。
- 1年B組 佐藤 拓真さん  
今回のスピーチを聞いて、感謝の気持ちをもつということは大事なことだと思いました。これからも感謝の気持ちをもって生きていきたいです。

## 平成25年度大仙市立中学校生徒海外派遣事業 報告会・解団式

2月12日(水)、「ふれあい文化センター」にて、1月3日から1月10日までの8日間、オーストラリア研修を行った生徒20名とその家族・学校関係者が集まり、標記の会が行われました。西仙北中学校からは2年生3名が研修に参加しました。

はじめに、引率した教育委員会の高橋規子指導主事からオーストラリア研修の8日間の概要が、生徒の写真とともに音楽付きでプレゼンされました。

その後、4つの班に分かれてポスターセッション方式で、一人一人がテーマに基づいた研修報告がプレゼンで発表されました。

発表後は、その4つの班からテーマに基づいた発表・提案がありました。



### ○A班 ゴミ、自然環境、動物保護

自分たちでポスターを作るのは難しいので、市内にゴミが無くなるように、ゴミ箱の設置を行う。また、ゴミを減らすようCMで呼びかけたり、授業で環境教育についての学習を深める。また、環境に適した植物などを植えて、環境保護を行う。

### ○B班 農業、食文化、生活様式

節電対策を行う。ご飯を食べたりするときに「いただきます」「ごちそうさまでした」の感謝の言葉で表す。生ゴミの堆肥活用を行う。秋田の食のPRを行う。

### ○C班 水資源、自然環境、伝統芸能

節水への取り組みを積極的に行う。たとえば、水の出っぱなしの禁止など。食べ物について

も常に完食をめざし、食べ物を循環させるようにする。歌や踊り、などお祭りで伝統芸能を披露する。

### ○D班 観光、自然環境、交流

AからDまでテーマが繋がっていることに気が付いた。地元のよさをアピールしていく。できることから手をつけていく。秋田県や大仙市の活性化につながるような活動を行う。環境がきれいになれば観光客が増え、観光客が増えれば環境がきれいになる。

この後、保護者から「このような企画を計画してくれた方々に感謝したい。」と感想がありました。

更に、教職員代表では、本校の今野先生が「オーストラリア研修で2つのよいことがあった。一つは中学校2年生という頭が柔軟な時期に行くことができたこと、そしてもう一つは、いろいろな人と出会えたことである。興味をもつことがコミュニケーションの始まりであるので、とても良い機会に巡り会えたし、このことを今後の生活に生かして欲しい。」と感想がありました。

教育委員会の国際交流員マイルズさん(オーストラリア研修に同行)からは、「ALTのマシュー先生は、『ホストファミリーと仲良くなったのが良かった。英語を使わなければいけない状況になったのが生徒のためになった。』と言っていました。私も、オーストラリアで出会った友だちを大切にしたいと思っています。オーストラリアに興味をもって立派な人間になって欲しいと思っています」と素晴らしい日本語で感想が述べられました。

解団式では、二人の代表と三浦教育長からあいさつがありました。

今後の生活に、研修での体験を生かすことを願っています。

## 第14回子どもと家族のペア 非行防止・健全育成標語

青少年育成大仙市民会議主催の標語コンクールに、大仙市から小学校低学年439点、小学校高学年650点、中学校852点の応募があり、本校の2名が優良賞と佳作に入賞しました。紹介します。

- ◎ 優良賞 1年 吉田佳奈さん 吉田佳子さん  
気をつけよう インターネットに ひそむ危険 (佳奈さん)  
気をつけよう ワンクリックが 落とし穴 (佳子さん)
- ◎ 佳作 1年 齋藤巴瑠圭さん 齋藤政和さん  
いじめをね なくす声かけ 自分から (巴瑠圭さん)  
しらんぷり そんなあなたに ならないで (政和さん)